

「経営デザインシート」の取組状況について

2018年12月26日
内閣府 知的財産戦略推進事務局

「価値デザイン社会」への挑戦 ～ 夢×技術×デザイン=未来 ～

－ 価値デザイン社会 －

経済的価値にとどまらない多様な価値が包摂され、そこで多様な個性が多面的能力をフルに発揮しながら、「日本の特徴」をもうまく活用し、様々な新しい価値を作って発信し、世界の共感を得る

① 脱・平均とチャレンジ

尖った人、**チャレンジする**人や**組織が我が国から生まれる**とともに、世界から集まる

② 分散と融合

個人が有する複数の能力を、プラットフォームを通じて他人の能力と適切に組み合わせ、新しい価値を生む

③ 共感・貢献経済

日本の社会、文化、方向性に共感を持つ海外の理解者、「ファン」を積極的に受け入れる

個々の主体の強化

組み合わせの仕組み

国全体のブランド強化

(1) チャレンジする人・組織

(2) 知的資産の柔軟な交流・共有による価値拡大

(3) 世界に共有される価値・感性

新たな価値創造を行える人材の育成

多様な人材・組織が集う場の形成

クールジャパンの魅力分析・効果的発信

価値創造メカニズムの「見える化」を通じた組織経営

SDGs等実現のための知的資産プラットフォーム

クールジャパンを支える外国人等の集積・活用

ベンチャーを後押しする仕組み

次世代のコンテンツ創造・活用システムの構築

等

ひとことというと

将来を構想するための思考補助ツール (フレームワーク)

100文字というと

環境変化に耐え抜き持続的成長をするために、自社や事業の(A)存在意義を意識した上で、(B)「これまで」を把握し、(C)長期的な視点で「これから」の在りたい姿を構想する。(D) それに向けて今から何をすべきか**戦略を策定**するツール。



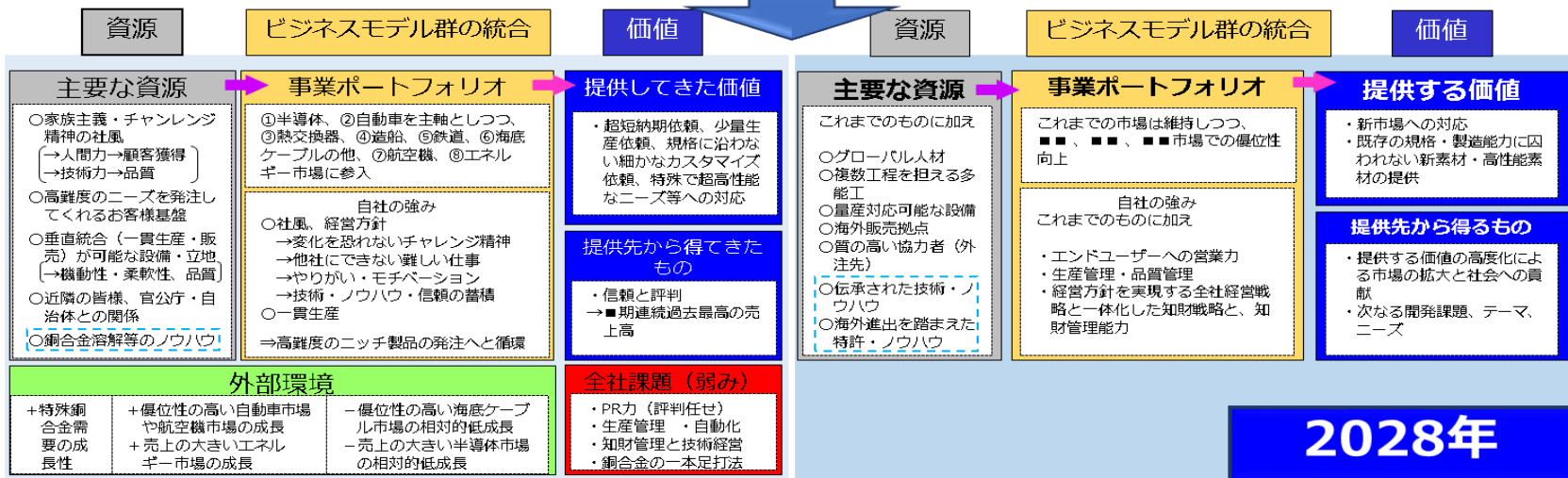
ここが重要!

自社の目的・特徴

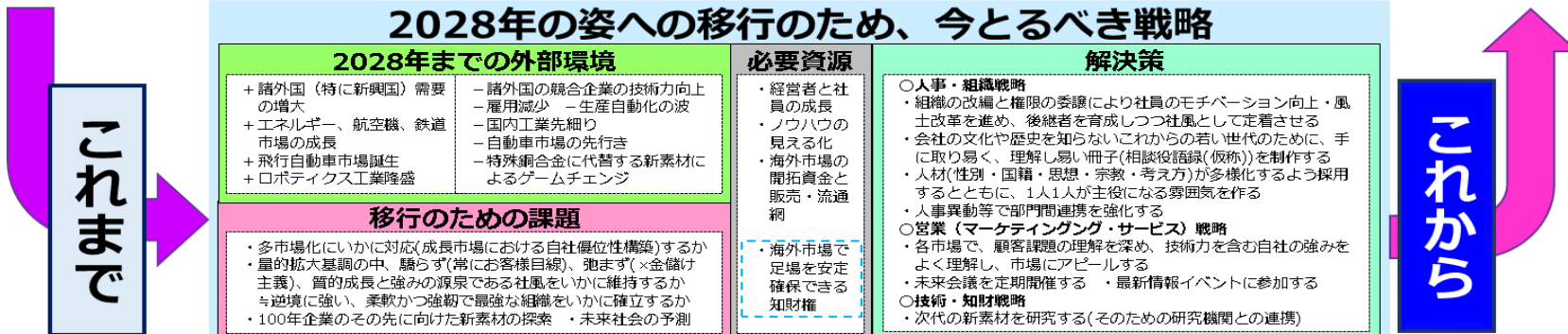
- ・世のため人のため、お客様の安心・信頼と工業界発展に貢献する特殊銅合金素材企業
- ・社員が誇りと自信を持って働きその人間形成・人間の成長に貢献するヒトづくり企業
- ・理念：誠実一路、積極一貫、大和一体、創造開発
- ・特徴：溶解からの一貫生産、少量多品種・短期対応、若手から高齢者まで活き活きと働く

経営方針

- ★他社にできない高難度のニッチ製品の垂直統合（一貫生産・販売）体制で高収益を得る
- ★百周年（2041年）を3世代社員を含めて共に祝いたい！100年企業を目指そう！！
- そのために、大和合金がなくなるとどうにもならない、と世界の超優良大手企業に言われるような、特殊銅合金の世界No.1になる！（但し、×儲け主義の大企業化 ○小粒でピリッと辛い山椒企業）
- ⇒●海外にも、■、■市場にも進出する！
- 逆境に強い、柔軟かつ強靱で最強な組織になる！（家族主義の風土は守りつつ、人材を多様化）

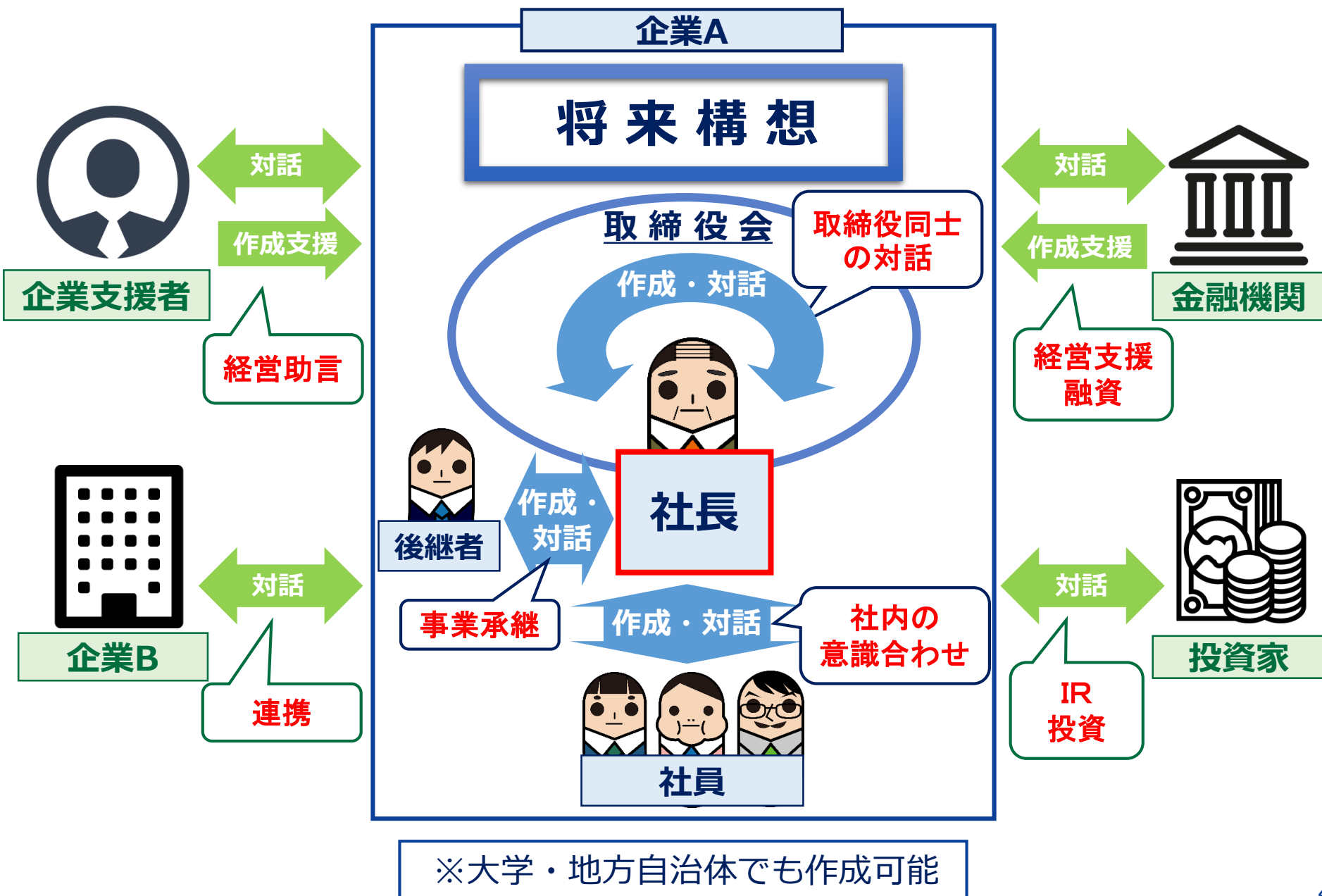


2028年の姿への移行のため、今とるべき戦略



経営デザインシートを作成した感想

- ・ 社員のベクトル合わせに最高
- ・ 金融機関への現況と今後の見通し、戦略の説明に便利に活用
- ・ 自社の強みを自身で理解することが難しいことを痛感



- **全国各地で行政によるセミナー開催**
(経産省,特許庁と連携)
- **土業向けセミナー開催**



- **金融機関(地銀、信金、信組)へ説明**
福岡財務支局(10/3), 近畿財務局(1/28), 関東財務局(3月予定)



対話
作成支援

- **事業承継フォーラムにて紹介**
中小企業庁と連携

大阪会場	福岡会場	仙台会場
● 11月19日(月)	● 12月5日(水)	● 12月10日(月)
● 13:00-17:00	● 13:00-17:00	● 13:00-17:00



取組
作成・対話

取組
の対話

作成支援

金融機関

経営支援
融資

- **統合報告書の作成への活用に向け WICIにてワークショップ開催**
(WICI:The World Intellectual Capital/Assets Initiative)



企業B

対話

事業承継

作成・対話

意識合わせ

投資家

IR
投資

- **アワード等の申請書類や審査段階における活用**
東京ビジネスデザインアワード



● 企業から寄せられた主な意見

- ・ 議論や対話の契機になる
- ・ 知財も考慮しながら経営や事業について考えられる
- ・ 経営者の思考を共有でき、社内に一体感がでる
- ・ どのように考えていけばいいかのガイドがほしい
- ・ 成功事例の紹介がほしい

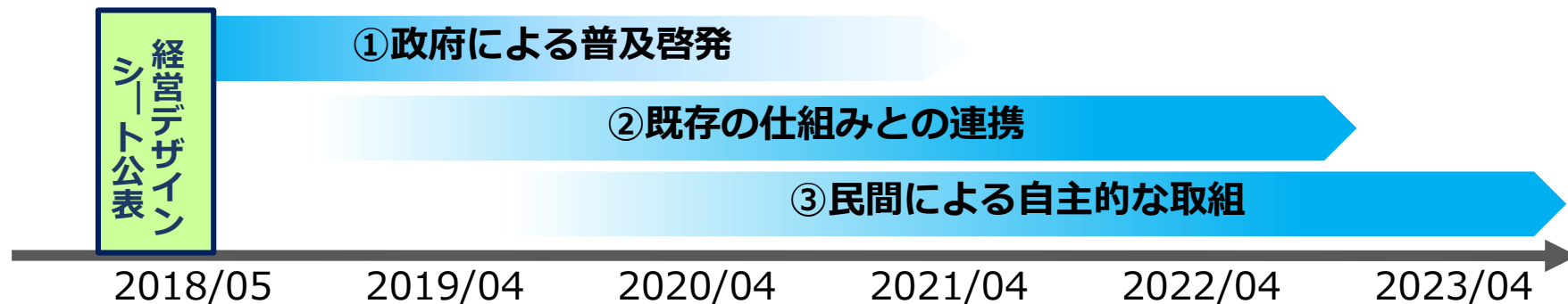
● 企業支援者（金融機関以外）から寄せられた主な意見

- ・ 1枚で作業・表現できる点が魅力
- ・ 企業の現在および将来の姿のコアな部分を把握、提示するのに適している
- ・ 企業の意欲や実力を把握しやすい
- ・ 中小企業に活用してもらいたいのであれば用語を簡単なものにおきかえるべき記載事項を簡略化する必要があるのではないかと

● 金融機関から寄せられた主な意見

- ・ 経営支援、融資を目的とした事業性評価、お客様との対話促進に役立つ
- ・ 経営者のみならず、役員、社員の話を聞くきっかけになる
- ・ シートをデータベース化し、金融機関を超えて活用できることを期待
- ・ 記入サンプルを豊富にしてほしい

○ 今後の取組(試案)



① 政府による普及啓発

- ◆経営デザインシートの在り方とその活用の促進に関する調査報告会（2019年2月予定）
- ◆経営デザインシートの簡易版作成（2019年3月公表予定）
- ◆経営デザインシートの作成事例の収集（随時公表・2019年3月末に計10社程度公表予定）
- ◆知財の価値評価検討タスクフォース（今年度3回開催予定，次回3月予定）
⇒普及啓発のための検討体の立ち上げ・開催（2018年4月以降）

② 既存の仕組みとの連携

- ◆官民における各種表彰制度の審査書類等としての活用を促す
- ◆金融機関の業務との連携（本業支援、事業性評価等）

③ 民間による自主的な取組